

アモリ

ヴァッシーリ

AMAURY VASSILI(テノール)



～フランス音楽界の貴公子、アモリ・ヴァッシーリ～

1989年6月、フランス生まれのテノール歌手。9歳頃に母のすすめで地元の音楽学校に入学。15歳でフランス・シャンソン・カップで優勝。20歳でワーナー・フランスと契約し、アルバム『VINCERO』でメジャー・デビュー。力強くドラマティックな歌唱、オペラを現代風にアレンジした音楽性が高く評価される。2010年、2ndアルバム『カンテロ』を発表。2011年、“ユーロビジョン”ソング・コンテストにフランス代表として出演し、世界で1億人以上の視聴者を沸かせた。2013年5月、葉加瀬太郎のバックアップを得て、『カンテロ・ジャパン・エディション』で日本デビューを果たす。その天性のテノール・ヴォイスとチャーミングなルックスで、多くのファンのハートを惹きつけている。クラシックをポップスにアレンジし、『UNA PARTE DI ME』（2012年）などクラシック・クロスオーバーのアルバムをリリースし、80万枚を売り上げた。彼は決してクラシックに囚われることなく、ポップスやロックにも果敢に挑戦している。フランスの音楽シーンの次世代を担うであろうシンガー、それがアモリ・ヴァッシーリである。クラシックからポップス、シャンソンまで自分の声にしていった彼が、自身の持つ音楽性をすべて見せるアルバム『AMAURY』が2018年リリースとなった。現在、30歳。世界中がコロナ禍ではあるが、デビュー10周年のフランスで、小規模コンサートの準備をしている。テーマは“ピアノ&ヴォイス”ピアノだけの伴奏で彼の声が堪能できるコンサートである。

2021年に日本での公演を実現すべく、調整中。